

こどもと見つける



# インターネットの 安全な 利用のしかた

株式会社日本総合研究所

はじめに

心配だけど禁止はしたくない！

## インターネットの 安全な使い方を考えよう

とても便利なインターネットですが、  
使い方次第でキケンな存在にもなり得ます。  
大切なのは、**サービスを提供する企業の取り組みを、  
上手に使いこなせるよう**こどもと一緒にチェックして  
おくこと。

**親子で会話しながら**、家庭での利用ルールを  
考えてみましょう。

### ティーン的安全を守る SNS の進化

Instagram (Meta 社) では、10代向けのティーンアカウントを導入。不特定多数のアカウントから不適切な情報を受け取らないよう**初期設定時に使用制限を設定**し、解除には**保護者の同意が必須**となっています。  
また、TikTok (Bytedance 社) では10代ユーザーの利用時間や閲覧範囲に制限を設ける他、動画や写真を投稿した際、**自動で保護者に通知が届く機能**を追加。  
SNS のリスクからこどもを守る**ペアレンタルコントロール機能**が標準化され始めています。

**参考** Meta社 ニュースリリース (2025年01月21日発表)

<https://about.fb.com/ja/news/2025/01/instagram-teen-accounts-in-japan/>



Bytedance社 ニュースリリース  
(2025年7月30日発表)

<https://newsroom.tiktok.com/tiktok-safety-updates?lang=ja-JP>



# 学校で人気のアプリ、 本当に安全なアプリ？

おもしろさだけで選ばず、  
安全かどうかでも選ぼう

「長時間プレイがやめられない」「親に無断で課金して高額な請求書が届いた」など、こどもにとっては楽しくても、親目線では心配事も多いアプリ。知名度や評判を理由に選ぶのではなく、「年齢に適した表現か」「利用時間が設定できるか」「課金への注意喚起が必須か」など、安全が守られていることを基準に判断するのも重要です。

## ガイドラインをチェックしよう

開発企業の多くは、**未成年が安心・安全に遊べるよう独自のガイドライン**を設けています。アプリコンテンツを購入する際は、どのようなガイドラインに基づいて開発されているかを家庭でチェックしてみましょう。

**参考** 一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会  
ゲームユーザーの皆様へ

<https://www.cesa.or.jp/action/for-users/>



一般社団法人ソーシャルメディア利用環境整備機構  
安心・安全の取り組み

<https://smaj.or.jp/safety/>



# 無料で使えるのは どうして？

しくみを学び、自分らしい  
使い方を考えるきっかけに

オトクに感じる無料サービス。でも実は繰り返しCMを見なければいけない、個人情報の登録が求められるなど、**見えない対価**を支払っています。無料で使えるしくみを理解し、**自分の提供する時間や情報が適切かどうか**を考えることが大切です。

## 企業から 話を聞いてみよう

IT企業などが提供する学習ツールは、**インターネット利用の要所をサービス提供者から学べる機会**。ワークショップやテストなど、こどもが参加しやすい内容もあり、**自ら考える体験**を通じて**インターネットのしくみやルール**を理解できます。

### チェックポイント

- 実際のサービスを例にするなどリアリティがある
- ゲーム化など楽しく集中できる工夫がある
- 集団で受けられ、周りの反応も学べる

# 使い勝手を見守って くれるサービスは？

トラブルに早く気付く  
体制を整えよう

どれだけ気を付けていても、**キケン**は潜んでいるもの。フィルタリングを利用するほか、自分たちだけで安全な体制をつくるのが難しいと感じたら、**サポート窓口を頼ったり、専門の見守りサービスを活用したり**するなどの手段もあります。

## サポートサービスを見つけておこう

ペアレンタルコントロールの設定時、日常の使用時、トラブル発生時など、**状況別に把握**しておきましょう。

### チェックポイント

- 端末の販売店／アプリ内
- 危険なチャットを感知・通知したり、性的自撮りのブロックをするサービス（原則有料）
- こどもが探しやすい相談窓口案内

# 親子の会話が 安全につながる

対話からつくる  
我が家のインターネットルール

企業が提供するテスト等を通じて、最新の知識を補うことも期待できます。

スマホ知識が身につくテスト、一緒に受けてみない？

このサービスに  
どんなルールがあるか  
確認しよう

企業の取り組みを一緒に確認し、安全への意識を高めましょう。

お金ではなく、時間や関心を「支払っている」気づきのきっかけになります。

これがおすすめに出てきたのはなぜだろう？